

## 環境コンプライアンス

環境汚染や生態系破壊、気候変動などの環境リスクを最小限に抑えるため、法規制よりも厳しい自主基準値を設けるなどし、環境コンプライアンスを徹底しています。

### 省エネへの取り組み

当社は「エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律（省エネ法）」に定める特定事業者（年間エネルギー使用量が原油換算で1,500kl以上）に該当することから、同法の努力目標である「エネルギー消費原単位を中長期的に見て年平均1%改善」に取り組み、行政へ定期的に報告しています。なお、2016年度から開始された同法における「事業者クラス分け評価制度\*」において、当社は8年連続で「Sクラス（優良事業者）」の評価を受けています。

\*事業者クラス分け評価制度の概要：

[https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving\\_and\\_new/saving/enterprise/overview/institution/](https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/enterprise/overview/institution/)

### 事業所における化学物質の管理

環境・人体に与える影響を最小限に抑えることなどを目的とし、事業所内で使用する化学物質の保管量・使用量等の管理を行っています。具体的には、事業所で使用する化学物質のSDS（安全データシート）の取得やリスクアセスメントを実施し、化学物質を使用する人員に悪影響を及ぼさないよう対応しています。

（詳細：<https://www.fujitsu.com/jp/group/frontech/about/sustainability/environment/compliance/index.html>）

### 汚染予防

当社では、環境汚染の予防対策として地下水、排水などの定期自主測定を行い、必要に応じて改善策などを講じています。以下は、2022年度の主な結果になります。

#### 2022年度の結果

地下水測定 単位：mg/l

検出項目	該当拠点	法基準値	検出結果	備考
砒素及びその化合物	新潟工場	0.01	基準値未満 ~0.027	砒素は過去から使用実績がなく、自然由来と判断。

排水測定 単位：1l中

検出項目	該当拠点	法基準値	検出結果	備考
水素イオン濃度（pH）	新潟工場	5.8~8.6	6.6~9.2	基準値を超過したpHは、雨水不足が原因のため問題なしと判断。水濁法対象外。

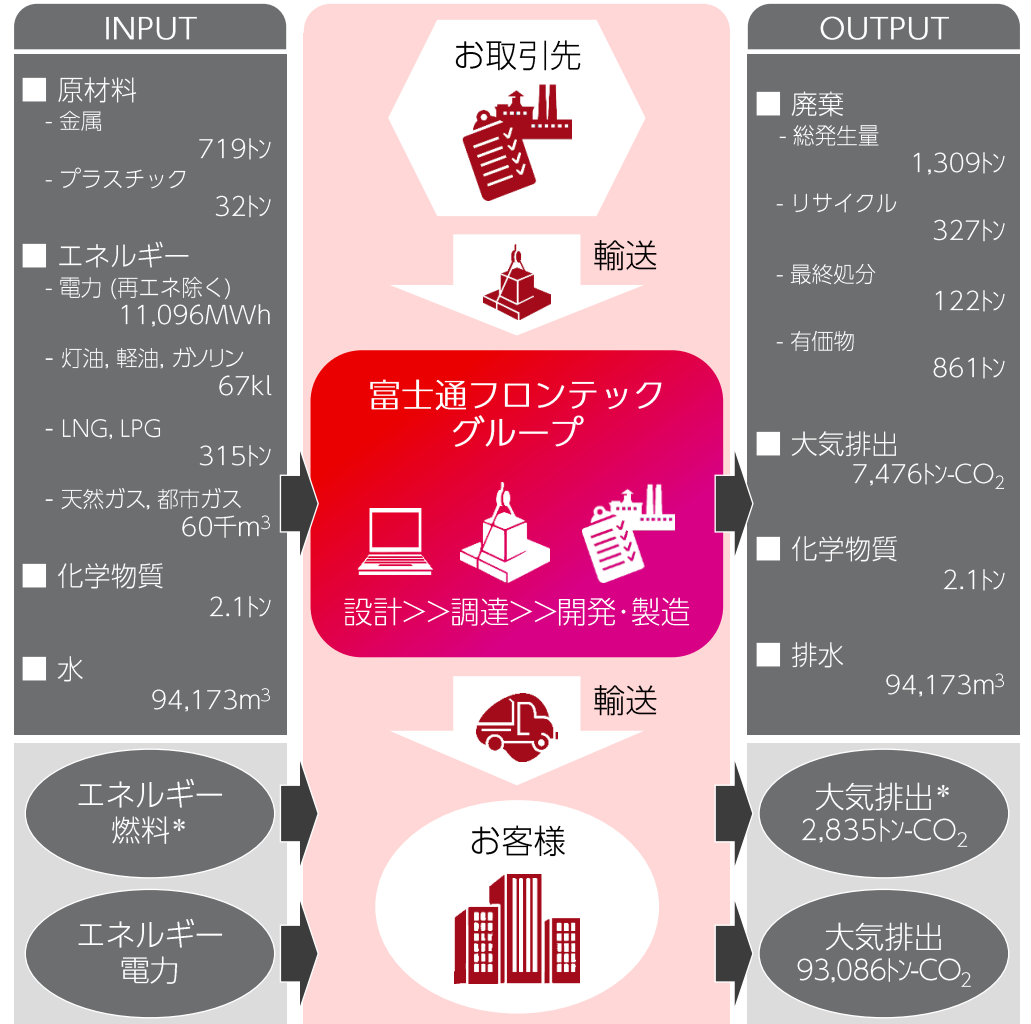
#### 【その他測定項目および他拠点の結果】

本社・東京工場および熊谷SSC含め、法基準値、自主基準値ともに超過はありませんでした。  
（詳細：<https://www.fujitsu.com/jp/group/frontech/about/sustainability/environment/data/#pollution>）

## 事業活動および環境負荷

富士通フロンテックグループの環境パフォーマンスをバリューチェーン全体で捉えるとともに、環境に配慮した事業活動を推進しています。

### 【マテリアルバランス(2022年度)】



#### 【対象範囲】

国内：本社・東京工場、新潟工場、熊谷SSC 海外：FDTP、FFNA  
\*INPUTの「エネルギー燃料」および、そのOUTPUTの「大気排出」は、新潟工場とFFNAの合計。